



菅原 達 議員
(公明党議員会)



地区公民館を拠点とした 地域コミュニティの形成について

Q 町会単位を基本とする自主防災組織の活動の拠点を指定避難所エリアとすること、指定避難所運営は避難者自身が行うことの基本にのっとり指定避難所ごとの運営主体の明確化と、指定避難所を拠点とした自主防災活動の活性化につなげられるものと考えているかが、伺いたい。

A 市長

自主防災組織の活動拠点を地区公民館などの指定避難所エリアに置くことは、町会単独での運営に苦慮する町会の負担軽減につながるとともに、地区防災計画としての体制整備の推進や、地区全体としての防災活動の活性化に寄与するものと考えています。今後は、各指定避難所のエリア内にある自主防災組織が防災訓練や防災講話を合同で実施するなど、地域防災力の向上に資する連携について提案していきたいと考えています。

その他の質問

☆不登校の子どもたちの多様な学びの場の保障について



飯田 昌弘 議員
(倉生会現・大樹会)

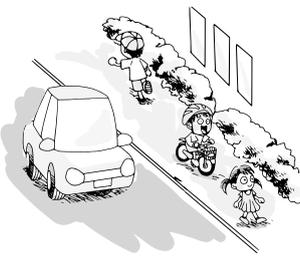


インフラ整備として大切な幹線道路、 一級河川の整備について

Q 主要地方道佐野田沼線、浅沼町から吉水町、延長3,200mについて、現況は歩道が狭隘でマウンドアップ歩道であるために起伏が多く歩行者や自転車の通行が危険な状況にある。歩道の拡幅により安全で安心して通行できる歩道空間の確保に向けて早期の事業化を栃木県に対して要望されたが、現状と今後の予定を伺いたい。

A 都市建設部長

当該箇所は車両や歩行者の交通量が多いにもかかわらず歩道幅員が狭いことから、栃木県としても整備が必要と考えており、今後は通学路としての利用状況や事故発生状況等も見ながら、優先的に調査に着手する区間を検討していきたい、と伺っています。佐野市としても、本区間における安全な歩道空間の確保は喫緊の課題と捉えており、早期事業化に向け積極的に支援、協力していきたいと考えています。



2023年 トルコ・シリア 地震救援金を寄附しました

令和5年3月3日(金)、佐野市議会議員親睦会が日本赤十字社に対し、2023年トルコ・シリア地震救援金30万円を寄附しました。

議員親睦会の山菅直己会長と飯田昌弘副会長より、日本赤十字社栃木県支部佐野市地区長である金子裕市長に手渡しました。

